



主な内容

No. 99

2012.11.1 発行

発行責任者 議長 原 悟郎
編 集 議会報編集委員会

URL <http://www.vill.minamiminowa.nagano.jp>
E-mail gikai-d@vill.minamiminowa.nagano.jp

- 議会報告 2・3
- 一般質問 4～8
- 議会活動 9・10

議会のホームページをリニューアルしました。
一段と見易くなりましたので、ぜひご覧ください。

議会報告

平成23年度決算を審査・認定

9月定例会は9月3日から14までの日程で開かれました。18議案はすべて原案のとおり可決。請願2件、陳情1件が提出され継続審査1件と併せ、採択3件、趣旨採択1件、意見書の提出2件となりました。

9月定例会で 決まりました

	件 名	賛 成	反 対	議決結果
条例関係	村税条例の一部改正 地方税法の改正などによるもの	9	0	可決
	防災会議条例の一部改正 災害対策基本法改正に伴うもの	9	0	可決
	災害対策本部条例の一部改正 災害対策基本法改正に伴うもの	9	0	可決
	福祉医療費給付金条例の一部改正 県公布要綱改正に伴うもの	9	0	可決
平成23年度決算(別表1)	一般会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
	介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
	上水道事業会計決算の認定	9	0	認定
	下水道事業会計決算の認定	9	0	認定
関係平成24年度補正予算(別表2)	一般会計補正予算(第2号)	9	0	可決
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	9	0	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	9	0	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9	0	可決
	水道事業会計補正予算(第2号)	9	0	可決
その他	財産の取得について 伊那土地改良区排水路の村への管理移管のため	9	0	可決
	教育委員会委員の任命について 征矢鑑氏、太田光子氏の任期満了のための再任			同意
	固定資産評価審査委員会委員の選任について 向山實直氏再任、征矢忠典氏再任、植田幸一氏新任			同意
	人権擁護委員の推薦について 中村榮三氏再任			同意
請願・陳情	オスプレイの在沖米軍普天間基地配備と長野県上空を含む国内低空飛行訓練の中止を求める請願(総務文教委員会の審査結果は採択)	9	0	採択
	危険な米軍輸送機オスプレイの配備・訓練中止を求める陳情(総務文教委員会の審査結果は採択)	9	0	採択
	→意見書提出(上記2件を合わせて) 安全性に懸念があるオスプレイの配備・訓練中止を求める意見書の提出 ●賛成討論:久保村...オスプレイは欠陥機だ。長野県内も訓練ルートになっており、住民に危険な配備・訓練には反対だ。	9	0	提出
	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情(総務文教委員会の審査結果は趣旨採択)			異議なし
その他	国道153号の指定区間編入を求める請願(経済厚生委員会の審査結果は採択) ●賛成討論:丸山...国道153号の早期整備は、伊南と伊那のバイパス工事を比較しても明らかのように、国の直轄とすべく指定区間編入が必要である。	9	0	採択
	→意見書提出	9	0	提出
	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	9	0	提出

平成23年度決算

別表1

会計別	歳 入	歳 出	会計別	歳 入	歳 出
一般会計	61億1768万円	56億3536万円	上水道事業会計	収益的	2億4287万円
介護保険特別会計	6億9842万円	6億8886万円		資本的	754万円
国民健康保険特別会計	11億1382万円	11億103万円	下水道事業会計	収益的	4億7467万円
後期高齢者医療特別会計	8990万円	8781万円		資本的	1億4662万円

平成24年度補正予算

別表2

会計別	補 正 額	補正後の総額	会計別	補 正 額	補正後の総額
一般会計(第2号)	3億5447万円	52億656万円	後期高齢者医療特別会計(第1号)	208万円	9585万円
介護保険特別会計(第1号)	1220万円	7億7619万円	水道事業会計(第2号)		
国民健康保険特別会計(第1号)	3420万円	11億2033万円	収益的支出	80万円	7708万円

議会報告

一般質問のその後

平成24年6月定例会の一般質問のその後の経過（村から報告のあったもの。質問順に掲載）

質問者・質問内容	担当・対応
山崎文直 ●大芝みんなの森、赤松の小屋の休憩設備設置について。①ベンチ設置を。②一般利用できることを周知して。③作業資材の対処を。④公園内のほか施設へ誘導看板を。⑤小屋にパンフレットを。	→産業課：①赤松の小屋南側にベンチを置けないか検討中。②まずは貼り紙で掲示した。今後トイレの表示改善と併せ工夫する。③通用口の不要物を近く整理し対応したい。④検討を進めている。⑤設置した。
百瀬輝和 ●防災関係①組織作りが進まない地区には、防災アドバイザーなどを任命し自主防災会の指導を。②防災計画に女性の視点を。高齢者に配慮した避難所や備蓄品を。③非構造部材のチェックと耐震化は。④防災「家族会議の日」を村で制定しては。 ●補助犬の啓発活動を。	→総務課：①防災アドバイザー設置要綱、防災士要請事業補助金交付要綱を制定した。自主防災組織連絡会、消防団に説明しお願いした。今年度中に体制を整えたい。②防災連絡会に昨年と、改めて7月25日お願いした。意見集約を11月末までにお願い済み。③今年度の村3ヵ年事業で計画的実施を検討する。④防災連絡会に提起した。12月末までにその検討結果の報告を頂く予定。 →教育委員会③小中学校体育館天井の定期検査で改善を求められている。早期に改善を図る) →住民福祉課：役場庁舎、村民センター、大芝関係、社協、JA、商工会にステッカー配布済み。
山口守夫 ●ポイ捨て禁止の看板設置を。 ●セラピーロード中間点にトイレを。 ●道路排水路に土砂がたまり、脇には雑草が生い茂り管理できていない。すべてを村が管理するのではなく、地域で話し合い、自助共助公助で解決策を見出して。 ●大芝50mプールの今後の存続は。	→住民福祉課：「ポイ捨て禁止条例」記載の看板を作成し、必要個所に設置する。 →産業課：遊歩道にトイレの案内看板を設置した。今後、トイレ入口の表示もわかりやすくすべく検討中。 →建設水道課：農業用水路は土地改良区と協議中。11月の地区懇談会で地域住民の意見を聞く予定。景観形成団体移行の地域ワークショップで、地域の取り組みと協力をお願いする。身近の道路の草刈り、側溝の泥上げ等協力をお願いする。 →教育委員会：7月14日オープンしたが、同下旬に浄化装置が腐食、穴があき漏水。応急処置をして今シーズンを乗り切る。来年度は50mプール廃止の方向で、後利用も含め検討する。
都志今朝一 ●通学路の充実と、安全の確保を。	→教育委員会：8月2日に関係者で、通学路の合同点検会議を開き、危険箇所対策を検討した。今後、関係機関と協議し、できることから安全対策に着手する。9月議会に補正予算を計上。
加藤泰久 ●空き家、廃屋の件数はどのくらいか。所有者の経済的理由で十数年放置されたまま。法的措置をとって対処しては。	→総務課：8月区長会で、来年1月までに空き家調査を依頼済み。保安上危険な場合には、除去命令を発令し、除去されない場合には行政代執行が可能だが、公平性の観点から所有者に維持管理の徹底や除去をお願いする。
丸山豊 ●行政評価の情報公開をどのように考えるか。 ●教育委員会の執行状況の点検、評価と、その報告書の議会への提出・公表は。	→総務課：整ったデータから情報公開を開始している。今後も整備次第公開していく。 →教育委員会：H22年度実績に基づき『教育に関する事務の管理及び報告の点検及び評価報告書』を作成中。年内に議会提出・公表していく。
久保村義輝 ●中央道法面の雑草を、公団と協議して。側道（村道）の雑草も手を入れる必要がある。村だけでなく地域の協力も要請が必要。	→建設水道課：協議により南部小学校から南の村道10号線までの間を日本道路公団（JH）で実施することに。JHでは、今後も要請があれば可能な限り対応するとのこと。側道は村で順次実施する。
唐澤由江 ●運動あそびの今後の推進は。チャートなどでどの保育士も空いた時間に活用できるようにしては。	→子育て支援課：運動保育士の指導により、保育士が日常保育の中で運動あそびを積極的に取り入れていくよう、各保育園に指示した。

一般質問

避難者確認の



久保村 義輝

村の小学校では不安な学級があり、全職員解決に努力している。

国道153号歩道



山崎文直

教育委員長 林は複数の所有者がおり、枝打ちなどを話し合っていく

問 今年の防災訓練では、村職員が避難者を名簿により確認した。村の目的はなにか。

村長 防災意識の向上と訓練の継続を目指した。デジタル防災無線の活用と被災者支援システムの検証に取り組んだ。

問 自主防災との分担や避難者の確認などで、地域との連携が不足だつたのではないか。

区では組別の参加者名簿に記載したが、村名簿はアイウエオ順のために受付に手間取った。安否確認報告をなぜ受け付けなかつたのか。

村長 避難所受付は初の名簿による確認で、混乱し時間がかかった。

避難所運営は地域において願いすることが適切と感じた。受付名簿の改善や役割分担など、反省点や

課題を地区組織と協議させていただく。

に指導する」という考え方で尽力したい。

自主防災との分担や避難者の確認などで、地域との連携が不足だったのではないか。区では組別の参加者名簿に記載したが、村名簿

問 報道では「いじめ」を苦に自殺」などの記事が多く、「学校や教育委員会が適切に対応せず」などの批判も目にする。本村の生徒児童の状況と学校の取り組みは。

ぬように、日常的に保護者や地域との連携が必要ではないか。

A black and white photograph capturing a street scene. In the center-left, a white car is seen from behind, driving away down a paved road. To the right of the road is a concrete curb and a sidewalk. The sidewalk is bordered by a dense wall of overgrown ivy and bushes. A metal drain grate is visible on the sidewalk near the bottom center. In the background, more trees and buildings are visible under a clear sky.

		いく。昨年田畠地区、H24年度北殿地区を実施。垣根は個人の問題だ。個人のものに補助金は対応できなが業者の紹介を行う。
問	避難	所指定の公共施設の耐震化
問	教育長	場一階にできないか。
問	村長	所の調査はしたか。塀の改修にリフォーム補助制度の適用ができるのか。
問	教育長	クを実施する方向で、サードブックはその後検討する。

2012年(平成24年)9月12日(水曜日)

◎中日新聞社 2012 (日刊)

中日新聞

小中高「いじめアフターワーク」

地域に偏り「把握が不十分」

全国の小中高校だが、2011年度に把握したいじめは七万四千三百件で、年度を重ねると減らすことが、文科省の調査結果によると、文部科学省の問題提起についた。都道府県別で見ると、学生一人当たりの件数は最も上位四つの開きがあった。

子どもの自殺、最多200人

いじめの把握件数

文科省11年度調査

月	小学校	中学校	高校
7月	15,000	10,000	5,000
8月	12,000	8,000	4,000
9月	10,000	7,000	3,000
10月	8,000	6,000	2,000
11月	6,000	5,000	1,500
12月	4,000	3,000	1,000
1月	3,000	2,000	800
2月	2,000	1,500	500
3月	1,500	1,000	300
4月	1,000	800	200
5月	800	600	150
6月	600	400	100

文部科学省 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
TEL 052-201-9811 FAX 052-201-9811

「いじめ」問題を伝える記事

工事が進んでいる計画で垣根が伸び歩行困難な場所があり指導する考えは高齢者のみの世帯など作業ができない人に、間伐事業補助金を適用できなかっか。

い。

震化工事が完了間近になり、次は周辺の安全対策が望まれる。南箕輪小体育館南側の拡幅改良、南部小南側自然林との防火帯が必要だ。

現状は無理だ。
市長 庁舎の増築が必要になつて
ているので、その時点で
対応したい。

問 高齢者が国道を渡つ
てこみを出すのがとても
怖いという。改善を。

村長 提出場所を増や
すのは可能だが地元区で
検討されたい。地域の支
え合いを期待する。

車イスでは通行できない歩道

ていく。昨
年田畠地区、
H24年度北
殿地区を実
施。垣根は
個人の問題
だ。個人の
ものに補助
金は対応で
きないが業
者の紹介を
行う。

問 避難

所指定の公
共施設の耐
場一階にできなか
い。

所の調査はしたか。塚の
改修にリフォーム補助制
度の適用ができるのか。
村長 調査はしていな
い。自主防災会で把握し
て防災マップに載せたい
外構工事は補助対象外。

問 ブックスタートを
拡充しては。

教育長 セカンドブッ
クを実施する方向で、サ
ードブックはその後検討
する。

問 期日前投票所を役

一般質問



学校教育の現状

上の長期欠席者は、南箕輪小と南箕輪中に若干名いる。いずれも不登校で、友人関係や勉強の遅れ、両親の不仲などが原因であると考えられる。

家庭訪問など学校とのパイプをなくさないよう心がけている。

いじめはあるのか？

教育委員長

問 柔道授業の安全対策は行っているのか。

両親の不仲などが原因で
あると考えられる。

上の長期欠席者は 南箕輪小と南箕輪中に若干名いる。いずれも不登校で友人関係や勉強の遅れ、

問 小中学校における
長期欠席者は何人いるの
か。

加藤泰久



がんばっている中学

保健体育専科
研修を受け指導
にあたる。体育
館の柔道場の骨
の入れ替えと衝

委員長



中山 豊

村長　人口増加に伴う
インフラ整備等で需要額
が増え、税収減による收
入額の減収で財政指数は
下降しているが心配のな
い推移である。歳出は事
業内容の精査、歳入は勤
労世帯の増と優良企業の
誘致により財源確保に努
める。本村の税収は人口
に支えられていることか
ら定住促進の努力も必要

減少や厳しい地方経済の雇用、デフレ状況を勘案しつつ投資事業を含む事業展開を模索。

削減は急務。扶助費・人件費等は困難でも物件費・補助費等を精査し改善を願う。財源確保は未済額の

代表監査委員 今の経済状況と政治不安では景気回復は困難。税収は横ばいか減収で経常経費の

村の財政状況 につ に向 問題

教育長ほか教科書採択に係わる本村の関係者は人數など一切公表できぬ。教科書全般についても、採用検討経過、優劣項目比較など管内基本方針にて公表不可

て。
教育委員会

ため基金財源
したい。

に。
村長 消防

上伊那は共同採択する。設置は必要。地域のを聞いて安全対策を

として確保
機関に要望。②警察
議中で、県が待ち場
確保すれば可能か。
則的な交差点なので

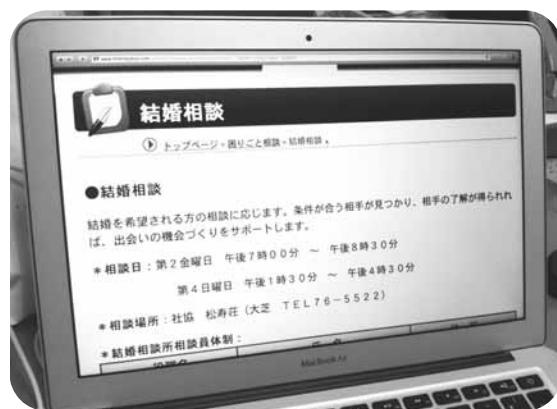
本村での採否は教育委員会で詳細に検討済み。全員で交通安全部門対策①村道10号線と西天幹線交差点②あじーな前横断歩道設置進捗状況③立山アルミ跡葬儀社進出に伴う沿

信号機など安全施設が急がれる交差点

一般質問

村長おおむね公約は手をつけられた。今後は高齢者を地域全体で支える組織作り、障がい者向け生活介護事業所やグループホームの開設、景観や

れず、要望の高まりをみてみたい。また犬が苦手な人もいる。セラピーロードは



出会いのサポートの場を活用して

殺事件から全国でいじめ問題が表面化した。村内学校のいじめ防止対策は教育委員長 各校の職員室と保健室にいじめに対する相談窓口を設けている。中学は相談室ま

問 県内学校で教職員の生徒に対するわいせつ行為が後を絶たない。予防対策は。

い。
関係をどう思うか。
教育委員長 学校では知・徳・体を重点にバランスを取り進めている。

村長 署の建設、南原住宅団地の消却灰除去などの問題にも対応できる財政状況だが地方交付税の影響は大きいので、国は地方を大切にすることを願う。

物が多かったりするけれど、大切な広場内だが、もし作るなら多目的広場内だが、もし作るなら多日なく考えていいきたい。村内で904頭の犬が飼われている。ドッグランの必要性も増すかも知

ます。条件が合う相手が見つかり、相手の了解が得られ
トします。

午前 0 分 ~ 午後 8 時 30 分

午前 1 時 30 分 ~ 午後 4 時 30 分

芝 TEL 76-5522)

豊かな心を育み人間としての生き方、未来に対する夢や希望が持てる教育をしていている。

た村の相談員もおり、いつでも相談できる体制だ
児童生徒の服装・表情・態度・行動・持ち物を注視し、わずかな変化も見逃さず早期発見早期対応に心がける。

頃結論が出るので先生方に研究していただき、課題を見つけ授業に生かしていく。

問 運動能力向上に取り組んでいる成果は。

教育委員長 南小2 年生の結果は全国平均並み。他は集計が出ていない

村長 一般会計上、借金、貯金の状況は。村民一人あたりの
16年度末）から28万円余（H23年度末）に減らし、貯金は12万円余から19万円余に増やした。結果、村民一人あたり13万円余改善している。

村長 広域的な課題への対応や未来への道筋をつけるべく、今は全力で任期内あたっていく。

桝長　結婚相談の性質
上、地元には相談しにくく他市町村の登録者が多い。郡下では毎月限られた情報を持ち寄るので、結びつけるのも困難な状況。女性登録を増やし、社協や上伊那広域での対応も後押ししたい。情報交換の足らない内容は初

問 道徳
教育はそこ
やかな体を
育成する。
村の教育現
場の状況は。
教育長

村内学校の学力は 立つて学力テストの考察
り上位。長期的な展望に
組み状況は全国でもかな
的な学習への意欲や取り
教育長 3校とも総合
り得たものは。指導方法
は。 全国学力調査によ

健全財政の唐木村政 …次期の出馬は？



小坂泰夫

犬連れがふさわしいか住民要望を聞き、良い方法を模索したい。

児童・生徒に対する 教育現場の現状は



山口守夫

祥事について意見交換を行い、村教委・学校が一丸となってプロ意識の向

結婚相談は広域連携を

東北被災地を視察

東日本大震災から1年半経つて、わが村議会は総務文教と経済厚生の合同行政視察に、議会としては初めて被災地を訪れた。昨年秋の視察先に被災地を選ぶには忍びない感が強かつた。しかし今の被災の方々の大の方の声：とにかく東北に来てくれる事が一番の応援になる：に後押しされながら、9月19日の早朝、我々一行は村を発った。

南三陸町

東北は早い。最初の視察先、南三陸町防災対策庁舎に着いたのは夕方4時過ぎ。ここは、津波に襲われる直前まで人々に防災無線で避難を訴え続けた女性職員を含む多くの職員が犠牲になつた庁舎。鉄骨がむき出しになつた3階建ての構造だけが残る。その玄関には、多くの花束が飾られ、全国から手を寄せに来る人々が絶えないようで、夕刻でも入れ替わり立ち替わり犠牲者の魂を見舞う人々が続いていた。我々も花束と線香を捧げ合掌。

宮城県南三陸町防災庁舎前広場：一地盤沈下のため、夕方の満潮を迎えて浸水がはじまっていた。

我々は、現在でもあちこちに水たまりが残り、東北が広範にわたって地盤沈下したことを見識させられた。この後も訪れる先々で、宅地や農地の復旧工事の手始めに土盛

多く目にした。

初日泊まつた海岸沿いの宿は、比較的津波の被害は少なかつたと聞く。

それでも宿の正面から津波が2階まで襲つた。我々が訪れたのは平日だが、南三陸ではこの宿だけが大きく営業できているせいか、多くの宿泊客に驚かされた。それでもこの日は普段より少ないと聞かれてさらに驚いた。

（南三陸町：被災前人口約1万7千人のうち死者542人・行方不明者664人：H24年6月時点）

石巻市

二日目は朝から石巻市に移動し、石巻震災学びのガイド、ボランティア



日和山より：この川を津波がさかのぼり、大きな被害が出た。
(下部写真は震災前の様子)

始めた。ガイド当初は残念ながら地元から「被災の苦しみを案内するなんて！」と非難の声も聞こえたそうですが、今では震災への理解や被災地の復興につながると。我々のような訪れる側には、改めて防災意識の大切さを伝え

てくださるボランティアの姿に感銘した。（石巻市：死者3471人・行方不明者470人：H24年9月現在）

* * *

東日本大震災の行政視察を議会として計画したのですが、実際この目で見て、肌で感じ、本当に言葉に表すことができない悲惨さや虚無感を感じました。

女性職員が避難を促し続けて大津波に流された南三陸の「防災センター」、すでに震災から2回目の夏を迎える私たちが訪れたのは、秋とはいえ太陽が照りつける暑い日でした。マグニチュード9・

は発生ガスによる自然発火を防ぐ煙突が何本も立てられ、まだまだ処理しきれない廃車（石巻市で約8万7千台）の行き場を案じた。

最後は市内を見下ろす日和山に。震災直後から多くの方が被災状況を眺めに来た結果、生花や供物、お線香などが散乱し、それを齊藤さんらボランティア協会が清掃活動を開始。来訪者にお茶を提供する中で、震災時の様子を次々に聞かれたことをきっかけに、ガイドを

（南三陸町：被災前人口約1万7千人のうち死者542人・行方不明者664人：H24年6月時点）

（南三陸町：被災前人口約1万7千人のうち死者542人・行方不明者664人：H24年6月時点）

議会活動



庁舎機能が移転され、使われていない飯館村役場。広場は草が伸びたままとなっていた。

旧された仙台空港を視察し、その後車は南相馬市内、飯館村を通り抜けました。ここは東京電力福島第一原発事故を受け、居住制限区域や帰還困難区域があり、走り抜ける車窓から見えるのは、

0、東北沿岸部に甚大な被害をもたらし、ようやくまとめられたがれきの山、流された車がうずたかく積まれ、空港、道路、港湾、鉄道など壊滅的な被害だったことがうかがえました。

2日目の石巻市の観光学びのガイド、斎藤さん案内で市内の被災地を周りました。南浜町にあつた市民病院が当時入院患者150人を4日間かけて石巻赤十字病院へヘリコプターで搬送したとか。病院の形はあるもののすでに廃墟と化していました。塩釜のかまぼこ工場は



石巻の海岸付近：多くの建物が津波で流された。
今後の復興が待たれる

土砂で埋まり、その泥を片付けようやく開店したという女将の話を身につまさらながら聞きました。

また見違えるほどに復旧された仙台空港を視察し、その後車は南相馬市内、飯館村を通り抜けました。

福島県飯館村・「除染作業中」の旗を立て、作業が行われていたこの大地震を教訓として今後防災を重点に、住民の暮らしを守るために議会活動に励んでいきたい。

実際にさまざまだが、地域に移り住んで来た若い世代が快く入区してくれるところもあれば、金銭面や役回り、水路掃除や草刈り等の共同作業が大変で入区を断つたり、高齢を理由に区を抜けてしまう世帯もあつたり。区内に入るメリット、入らないでいる方が：と、いかにも現代らしく、損得勘定で地域の関わりを計る声を耳にすることも少なくないなど、本当に耳の痛い実情であった。

また、民間の会議なら即決即断が通常だが、議会の活性化の進行具合を聞いていると、少しスピードに欠けるのではないか？

人の住んでいる気配のない家並みがずっと続いているのか。家も家族も奪われた方々の気持ちを考えると本当に身につまされました。心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

放射能汚染、除染作業中というのぼり旗、役場を物々しく警戒している防護マスクの職員、今後体にどう影響し健康が阻害されるのか心配です。

各区の実情、問題点は実際にさまざまだが、地域に移り住んで来た若い世代が快く入区してくれるところもあれば、金銭面や役回り、水路掃除や草刈り等の共同作業が大変で入区を断つたり、高齢を理由に区を抜けてしま

う世帯もあつたり。区内に入るメリット、入らないでいる方が：と、いかにも現代らしく、損得勘定で地域の関わりを計る声を耳にすることも少なくないなど、本当に耳の痛い実情であった。

まつていましたが、草だけの田畠、水がついて沼地のようになった農地などいろいろで、天災には勝てない。さらに二次的被害ともいえる原発にはやりきれません。

それに比べてわが村はなんと豊かで恵まれていることか、改めて実感した次第です。

この大地震を教訓として今後防災を重点に、住民の暮らしを守るために議会活動に励んでいきたい。各区の実情、問題点は実際にさまざまだが、地域に移り住んで来た若い世代が快く入区してくれるところもあれば、金銭面や役回り、水路掃除や草刈り等の共同作業が大変で入区を断つたり、高齢を理由に区を抜けてしま

う世帯もあつたり。区内に入るメリット、入らないでいる方が：と、いかにも現代らしく、損得勘定で地域の関わりを計る声を耳にすることも少なくないなど、本当に耳の痛い実情であった。

石巻　ガイドのまなざし
みちのくの　除染の旗や
福島の　友への想い　後の月
東北へ　林檎を送り　鎮魂か



—住みよい村をつくるために—

『議会と語る会』

日 時：平成24年11月20日(火)

受付開始 午後6時30分

開会 午後7時

会 場：村民センター2階大会議室
～お気軽にご参加ください～

区長会との意見交換会

10月16日、区長会の皆さんと議会との懇談会を開いた。

という指摘もなされた。

議会や行政の懸案事項は、とかく法律やキマリにしばられ、一早い決断や改革がされにくいことも少なくないが、より良い方向性や解決策を見出す努力とスピードアップの必要性を、改めて痛感させられた。

区も議会も立場は違えど、ともに暮らす地域や村がより良くなることを願つて活動していることに変わりはない。お互い同じ地域に住む住民として、今後も意見を交わしていく約束をした。